

☆

子ども会 (学習会) だより ☆

MY SKY 第28号 ☆ ☆

マイ スカイ

1997年2月4日火曜日発行(毎週火曜日定期発行)

発行者

板野中学校

学習会

編集・文責:吉成正士

二週間ぶりのごぶさたでした。実は、私もとうとうインフルエンザにかかってしまい、
 一時仕事^{いちじ}が停滞^{ていたい}してしまいました。ということで、MY SKYも一度お休みさせていただいた
 次第です。瞬間^{しだい}的には39.6度まで熱が出ました。生徒のみなさんの中には40度を越して熱
 を出した人もいるのではないのでしょうか。本当に大変な今年の風邪^{かぜ}、こじらせないように
 気をつけてくださいね。

ここで知り合いのお医者さんからもらった注意点をいくつか!! 外から家に入ったとき
 うがいをしますが、必ず自分のコップでうがいをする。不用意に他人のコップでやる
 と、風邪がうつってしまうかもしれないので、かえって良くないのだそうです。そして、
 集団でうがいをするのも×。大勢が一斉^{いっせい}にうがいをしている所は、ビールスの溜まり場
 になるのだそうです。「うがい自体はよいことなので、正しくやることを心がけてくださ
 い」とのことです。何事^{なにごと}もそうかもしれませんが、いくら良いことでも、それを正しく扱
 わなければ、かえって逆効果^{さかこうか}になるというわけですね。何事に対しても、みんなで正しい
 知識を身につけましょうね。



◎先進地視察^{せんしん ち し かつ}～大阪研修報告^{おおさかけんしゅうほうこく}!! (1月16・17日:大阪日の出支部^{ひ で し ぶ})

前回予告していたとおり、板野町解放教育推進委員会^{かうほうきょういくすいしん いんかい}が中心となって行ってきた大阪研
 修について、報告しておきたいと思います。

学校同和教育研究会 1. 同和教育主事・主任・担当者・学専の会

(保育・幼稚園・小学校・中学校

高等学校・養護学校

2. 生徒指導教頭・主事・主任会

3. 解放教育推進委員会……①同和教育年間計画の検討

②全体学習の推進 ③意識調査の実施など

まず板野町解放教育推進委員会なる会について説明しておかなければいけませんね。板
 野町には、学校同和教育研究会^{がっこうどうわきょういくけんきゅうかい} (学同研^{がくどうけん}) という会があって、町内にある保育所、幼稚園、

小学校、中学校、高等学校、養護学校に勤めるすべての教職員で組織しています。学同研にはさらに3つの会がおかれ、その中の一つが解放教育推進委員会なのです。している内容は、同和教育年間計画の検討、全体学習の推進、意識調査の実施などです。火曜日のお屋から総合センターでよくやっています。これからの板野町における同和教育をより良くしていくためにはどうすればいいかについて話し合っているのですが、その一環として、今回先進地である大阪日の出支部に研修に出かけたのです。これからの部落解放という目標をしっかりと持つためにも、またこれから板野町や町内の学校が何をしていかなければいけないのかを見つけるためにも、大変有意義な研修となりました。

当日は、常に議論している町内の先生方だけでなく、他にも多くの参加者があり、総勢36名で出発しました。板中からは阿部先生、柿原先生、それと私の3人で参加しました。

まず現地について感じたことは、運動の歴史が非常に深いということでした。そしてまた、研究と実践が徹底的にされているということでした。その結果として出てきていることはたくさんあるのですが、一言で言えば、「差別をなくす基本は教育である」ということに尽きると思います。

そもそも40年前、大阪日の出地区で解放運動を始めたのは、当時まだ高校生だった7人なのだそうです。今でも「七人の侍」のように、それぞれの写真が額に入れられて、解放会館に飾られていました。その方たちは今も、いろんな分野で活躍されているようです。その中の一人の40年前当時の家が、解放会館の中に残され展示されていたのですが、その頃の部落の劣悪な状態の一端が感じられるようでした。というのも、4畳半一間に、6人が生活していたというのですから……。しかもそれが、まだ条件の良い家だったということです。その頃のことを忘れることのないように、きちんと現存させているということもすごいのですが、それにしても今の近代的な地域環境を考えると、本当に考えられない前進です。解放運動の成果ですね。

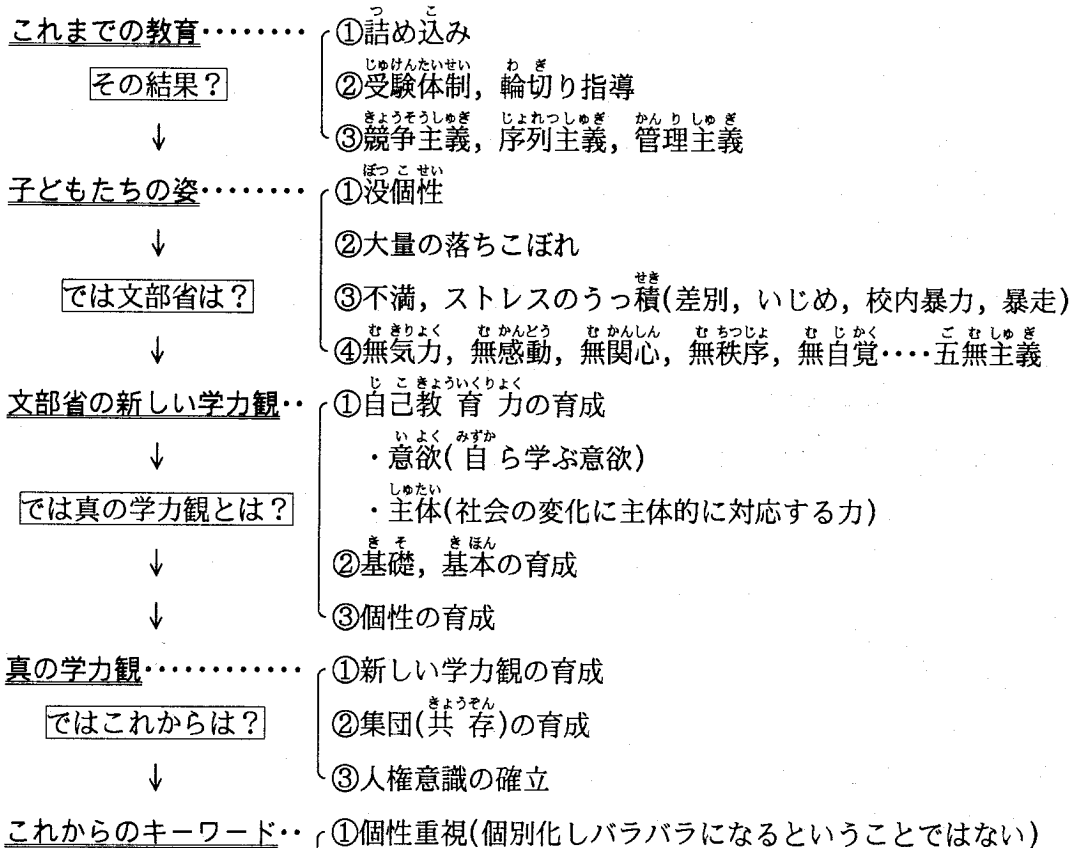
また別の部屋には、地区の子どもたちがいろんなことに取り組めるようなモノがたくさん用意されていました。ラジコンカーのコースやらビリヤード台、ベーゴマ、またハムスターやらカメ、タガメまでいて、本当にいろんなホンモノに接しながら経験を積んでいるなと感じました。たくさんの経験を積む中で、子どものいろんな個性を見つけ、引き出し、生かすことで、自信が生まれ、そのことを通して、教育を考えていこうとしているのが少しわかりました。でもこれらのことも、一人ひとりの子どもを見つめなければ、認めることもできませんし、幼い時に切り捨てられるほど、子どものやる気はなくなってしまうよ

うです。そのために日の出地区では、保育時に、3人の子どもに一人の保育者がつくようになっているのだそうです。今の板野町では、10人の子どもを一人で見ていることを考えると、きめの細^{こま}かな保育ができていることがわかんと思います。それは中学校にも反映^{はんえい}していて、学級担任は、どのクラスも2人で行っているのだそうです。つまり、板中であれば一人で30人以上をみているのに対して、日の出地区の中学校では、一人で15人程度を見ていることになります。一人ひとりを大切にみれるわけです。

では、どうしてこんなことができたのか？それは初めに書いたように、「差別をなくす基本は教育である」という理念^{りねん}から、いろんな改革^{かいかく}を地域住民と一緒に考えている中で、条件整備を市や大阪府、国に訴えていった成果なのだそうです。

しかも訴えてきたことは、実は日本全体をリードしていくことにつながり、文部省自身^{もんぶしょう}が、こういった取り組みを参考にしているというのです。最新の教育のモデルとなってきたわけですね。つまり、日の出地区は時代を先取り^{さきどり}していたということなのです。

これらのことを常に思案^{しあん}してきた「七人の侍」の一人である、有名な山中多美男^{やまなか たみお}さんから、直接お話を聞くことができました。その中で知ったことを、いくつか挙げてみます。



みても面白いと思うんです。最近のニュースには、わかりやすく解説してくれる番組も増えてきました。特に日曜日の朝にやっているニュース番組なんかは、小・中学生向きに制作されていて、よくわかるようにできてますね。

「何を今さら！そんな難しいことはわからなくていいの！わかる人にやらしとったらいいの！」

どうせ自分なんかが考えたところで、何がどう変わるわけでないんやから！」

な～んて思っている人もたくさんいるのではないのでしょうか。確かにそうかもしれません。でも、この意識が大人も子どもも変わっていかない限り、今の社会を変えることすらできないのです。こういう無関心・無責任な考えが、実はいじめを残したり、差別を許したりする社会につながっているのです。先に挙げた事件と、人権を大切にすることがつながっているのが、みなさんにはどの程度わかるのでしょうか？深く深く掘り下げて考え、友達と話し合ってみてください。きっとこれらの事件を含め、ありとあらゆる事件・事故が、人権問題を^め抜きにして考えられないことがわかってくると思います。

私たちにできることは、実はたくさんあります。自分を高めることもそうですし、家庭や学級、学校の意識を高め、変えていくこともそうです。また、地域や板野町そのものを変えていくこともそうです。そうした、初めは小さな小さな波がだんだんと集まり、大きな波となって、社会全体を動かすことにつながっていくのだと思うんです。その一番初めの基本となる、大事な大事なあなた自身をまず見つめ、少しずつ周りと一緒に変わって変える努力をしていきましょう。

また、現在日本社会の最先端^{さいせんたん}でも、人権感覚にすぐれた人材が求められています。そうでないと、他の国々に認めてもらえないからです。変わりばえのしない人材ではなく、^{どく}独創的^{そうてき}な発想^{はっそう}のできる、人権感覚をしっかりとった人材が今、必要とされているのです。私たちみんなが、そのことにしっかり気づき、人権を尊重する社会に、本当に誰もが心豊かに生きられる社会に近づけていかねばなりません。これからの社会をリードしていく若いみなさん、^{あま}甘えは許されませんよ～。しっかりとがんばりましょう！

ところで、日本海に重油回収ボランティアに行ってみようと思う人！いましたら、私まで直接連絡してください。大人でも子どもでも結構ですので、興味ある人はぜひ！

★ ★ ★ ★ ★

2月5日(水) 3年生学習会解放子ども会(18:00～19:30：総合センター)

6日(木) 1年代5回全体学習1年C組：資料「いじめられっ子が死を選ぶまで」

7日(金) 6年生体験入学(13:20～：板野中学校)

10日(月) 『MY SKY 第29号』発行日